

はじめに

近年、第4次産業革命といわれる、進化した人工知能（AI）など、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて加速度的に進展してきており、社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」や、新型コロナウイルス感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」が到来する中、子どもたちは、変化を前向きに受け止め、社会や人生を人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていくことが求められています。つまり、一人一人が自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要です。そのためには、学校教育のよさを更に進化させ、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが大切になります。

そこで、社会的・職業的に自立した人間として、伝統や文化に立脚し、高い志と意欲をもち膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立て解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく、「やり抜く力」と「つながる力」が求められています。

こうした力を育むために、新学習指導要領が全面実施され、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと、②子どもたちが社会や世界と向き合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を教育課程で明確化し育てていくこと、③地域の人的・物的資源を活用し、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図り、学校教育を学校内に閉じずに、目指すところを社会と共有・連携しながら実現させて行くことを大切にして、キャリア教育等を推進していきます。

また、授業等を通して学びの質を向上するために、①学校教育を通じて育む資質・能力（個別の知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）と各教科等を学ぶ意義の明確化、②教育課程を軸に学校教育の改善・好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の実現、③生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」に向けた、授業改善の取組の活性化など、単元や題材のまとまりの中で、「何ができるようになるか」を明確にして、「何を学ぶか」という学習内容と「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていくことが大切です。

昨年度はGIGAスクール構想の実現に向けて、高速大容量の校内LANと児童生徒一人一台端末のICT環境整備に取り組んだところであり、今年度はいよいよ全教科でICTを活用した授業づくりの充実を図ります。中央教育審議会の『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』では、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、それぞれの学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善へとつなげます。これからも、学校教育ビジョンの実現に向けて、学校教育と生涯教育の融合のもと、保幼小中の連携を強化した小中一貫教育の推進、SDGsのゴール目標を踏まえたE

SDの視点での各教科や生活科・総合的な学習の時間等のカリキュラムの構築、道徳教育・英語教育の充実、ICTを用いたプログラミング教育やアクティブラーニングの授業づくりなどを社会や大学と連携しながら進めていきます。「チーム早島」として、「次世代の学校」を構築するとともに、協働・協学・協育の町づくりに向けて前進していきたいと考えています。

早島町教育長 徳山 順子

学校教育課

1 早島町教育委員会の状況

(1) 教育委員会の組織及び運営

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、教育委員会制度が平成27年4月より次のように改正されました。

1 教育行政の責任の明確化

- 教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置く。
- 教育長は、首長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行う。
- 教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。
- 教育長の任期は、3年とする（教育委員は4年）。
- 教育委員会から教育長に対し教育委員会会議の招集を求めることができる。
また、教育長は、委任された事務の執行状況を教育委員会に報告する。

2 総合教育会議の設置、大綱の策定

- 首長は、総合教育会議を設ける。会議は、首長が招集し、首長、教育委員会により構成される。
- 首長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌して、教育の振興に関する施策の大綱を策定する。
- 会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。調整された事項については、構成員は調整の結果を尊重しなければならない。

3 国の地方公共団体への関与の見直し

- いじめによる自殺の防止等、児童生徒等の生命又は身体への被害の拡大又は発生を防止する緊急の必要がある場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができることを明確化するため、第50条（是正の指示）を見直す。

4 その他

- 総合教育会議及び教育委員会の会議の議事録を作成し、公表するよう努める。

(2) 学校教育関係予算(令和3年度予算一歳出一)

【単位:千円】

款	項	目	細目	R3年度	R2年度	比較
教育費(学校教育関係)				379,949	395,357	△15,408
	教育総務費			81,026	83,137	△2,111
		教育委員会費		935	1,123	△188
			教育委員会運営費	935	1,123	△188
	事務局費			80,091	82,014	△1,923
		教育長職員費		13,750	13,804	△54
		学校教育職員費		35,705	36,004	△299
		学校教育行政運営費		3,135	2,722	413
		一貫教育事業費		2,723	3,689	△96
		はやしま学推進事業費		7,034	7,156	△12
		I C T教育推進事業費		17,532	18,374	△84
		教育振興補助事業費		25	25	0
		中学校における起業体験推進事業		187	240	△53
	小学校費			114,983	129,697	△14,714
		学校管理費		104,539	116,846	△12,307
			小学校管理運営費	63,449	67,357	△3,908
			小学校施設整備事業費	0	13,000	△13,000
			小学校職員費(給食関係)	18,786	12,093	6,693
			小学校給食関係費	17,169	18,672	△1,503
			語学向上教育事業費	5,135	5,724	△589
		教育振興費		10,444	12,851	△2,407
			小学校就学奨励費	10,335	12,738	△2,403
			小学校教育行政運営費	109	113	△4
	中学校費			98,877	99,576	△699
		学校管理費		87,464	90,129	△2,665
			中学校管理運営費	43,462	40,871	2,591
			中学校施設整備費	3,600	6,400	△2,800
			語学向上教育事業費	4,255	4,585	△330
			中学校職員費(給食関係)	14,986	20,573	△5,587
			中学校給食関係費	13,249	10,381	2,868
			教育支援員活用事業	7,912	7,319	593
		教育振興費		11,413	9,447	1,966
			中学校就学奨励費	11,170	9,207	1,963
			中学校教育行政運営費	243	240	3
	幼稚園費			85,063	82,947	2,116
		幼稚園費		85,063	82,947	2,116
			幼稚園職員費	37,772	39,530	△1,758
			幼稚園管理運営費	33,254	29,518	3,736
			幼稚園施設整備事業費	0	883	△883
			施設型・地域型保育給付事業	10,617	8,639	1,978
			子育てのための施設等利用給付事業	3,420	4,377	△957

(一般会計)

	令和3年度	令和2年度	比較
予 算 総 額	5,328,000	5,117,000	211,000

2 学校園の状況

(1) 園児数・児童数・生徒数等（令和3年4月現在）

【単位：人】

年齢	早島幼稚園	参 考（令和3年度4月）			
		早島保育園	かんだ保育園	わかみや保育園	住基人口
0歳		15	8	6	112
1歳		34	22	19	119
2歳		31	21	21	126
3歳	36	32	25	22	146
4歳	47	49	26	25	141
5歳	56	31	26	22	143
計	139	192	128	115	787

学年	早島小学校		早島中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
1	138	4	110	4
2	133	4	120	4
3	139	4	127	4
4	119	4		
5	117	4		
6	148	5		
特別支援	知14 情42	9(知2情7)	知7 情10	3(知1情2)
合計	850	34	374	15

(2) 学校教育施設校地面積

幼稚園	3, 818 m ²
小学校	16, 359 m ²
中学校	20, 926 m ²

3 学校教育の推進体制

【単位：人】

(1) 学校教育課	(2) 早島幼稚園
課長	園長
課長補佐	教諭
指導主幹	講師
主事	保育支援員
教育支援コーディネーター	預かり保育支援員
ふれあい教室支援員	

※ 学校教育課の職員数及び早島幼稚園の職員数は、すべて町費の職員数を示す。

(3) 早島小学校	(4) 早島中学校
校長	校長
副校長・教頭	教頭
主幹教諭	主幹教諭
指導教諭	指導教諭
教諭	教諭
常勤講師	常勤講師
非常勤講師	非常勤講師
	授業改革推進員(兼務)
養護教諭	養護教諭
養護助教諭	養護助教諭
栄養教諭	栄養士
事務職員	事務職員
学校司書	学校司書
校務員	校務員
外国語指導助手(ALT)	外国語指導助手(ALT)
特別支援教育支援員	特別支援教育支援員
登校支援員	心の教室教育支援員
小1グッド支援員	
教師業務アシスタント	教師業務アシスタント
情報教育支援員(小中兼務)	情報教育支援員(小中兼務)
給食調理員	給食調理員
給食調理補助員	給食調理補助員
	部活動指導員

※ 早島小学校及び早島中学校の職員数は、県費と町費の総職員数を示す。

() 内の人数は、町費の職員数の内数である。

4 学校教育の基本目標

本町では、国の「第2期教育振興基本計画」を踏まえ、平成25年10月に「早島町学校教育ビジョン」を策定し、「地域とつながり 未来を拓く 早島っ子の育成」を実現するために、一貫教育の推進に努めています。平成27年6月には、「教育のまち・早島」宣言を行い、協働・協学・協育の町づくりに向けて、様々な取組を進めているところです。

「早島町学校教育ビジョン」及び「教育のまち・早島」の具現化に向けては、次のことを基本目標に掲げ推進しています。

目指す子ども像 **地域とつながり 未来を拓く 早島っ子の育成**

「地域とつながる」

早島っ子とは

- ① **早島町のことをよく知り、**
早島町の歴史と現状、自然・社会・産業の特徴、すばらしさと課題などについてよく学び、理解する子どもを育てます。
- ② **早島町の発展のために協働でき、**
早島町の持続可能な発展のために、様々な地域住民と、様々な世代と協働できる子どもを育てます。
- ③ **早島町を愛し続けることができる子どものことです。**
早島町の学校を卒業しても、早島町から転出しても、早島町のことを思い、誇りをもち、早島町の発展を願う子どもを育てます。

「未来を拓く」

早島っ子とは

- ④ **「確かな学力」を身に付け、自主的・共同的に課題を解決できる力と、**
基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるだけでなく、それらを活用・応用することで、自主的・共同的に課題に取り組み、解決する力を育みます。
- ⑤ **高い志をもち、世界でも活躍できる力を身につけた子どものことです。** 我が国の、そして世界の平和的な発展のために活躍できる力を育みます。具体的には、世界を視野に入れた将来への夢や希望・志、国際理解、外国語コミュニケーション力などです。

《育みたい資質能力》

自立（自立した一人の人間としてたくましく生きる）

共生（自他共に尊重し、主体的に社会や自然と関わる）

郷土早島を愛する心（郷土早島を大切に思い、世界に視野を広げ、よりよい社会づくりに参画する）

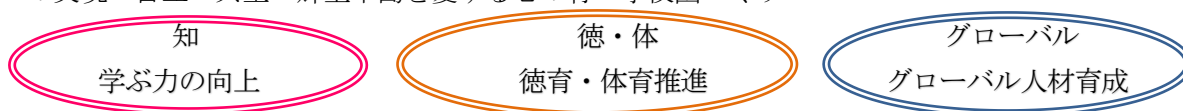
このような「地域とつながり 未来を拓く 早島っ子」を育むために、次のような教育を重点的に行います。



- ★ 保幼小中の連携を強化し、小中一貫教育を推進します。
- ★ 町民とともに学び、地域を考える「はやしま学」を実施します。
- ★ 各学校・園と地域が連携して早島っ子を育てる仕組みを拡充します。

5 本年度の目標

すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的・探究的な学び」の実現～自立・共生・郷土早島を愛する心の育つ学校園づくり～



(1) 早島町学校教育ビジョンの更なる推進

早島町学校教育ビジョンの具現化に向けて、学校教育での「はやしま学」として、SDGsのゴール目標を踏まえ、ESDとキャリア教育の付けたい力を明確にした教育活動を行うとともに、小中一貫教育の充実を更に進めていきます。また、生涯学習での「はやしま学」として、放課後・休日の「はやしま塾」、長期休業中の「わくわくサマーホリデイ」や「わくわく算数教室」、国際的な視野を広げる「土曜英会話塾」、岡山大学・環太平洋大学の留学生との「町探検ロゲイニング」や「外国絵本の読み聞かせ」、知的好奇心をくすぐる大学の専門家等との連携による「English Bus ツアー」や「科学バスツアー」など、国際感覚や多様性を育て、非認知能力を高める、豊かな学びに取り組んでいきます。

(2) ICT活用等による学力向上に向けた授業改善

小学3年生から中学3年生を対象とした、全国・県学力・学習状況調査（国語、算数・数学、中2英語、質問紙）を実施し、児童生徒一人一人の経年比較をみとり、学習内容の定着や学習習慣を把握するとともに、全教員で主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組みます。また、児童生徒が一人一台端末を日常的に使い、自由な発想でICTを活用していくことで、個別最適な学びや協働的な学びを展開していきます。さらに、自学自習を促す「スタディ・パスポート」やタブレットの活用、読書活動の推進、生活リズム向上のための「リミットスクリーン」への主体的な取組、保幼小中の全家庭で取り組む「チャレンジカード」の活用等を通して、学習習慣づくりの定着や学力向上に向けて、家庭と連携して取り組んでいきます。

(3) ESDとキャリア教育の推進（ESD：持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）

SDGsのゴール目標を踏まえ、ESD教育とキャリア教育の視点のもと、地域をフィールドにした生活科・総合的な学習の時間の単元学習プログラムの再構築、グレード表のブラッシュアップ、探究活動の質の向上や振り返り時間の充実、校種を超えた連携カリキュラムの再構築を図るとともに、教科を中心とした教科等横断的な単元学習プログラムの作成に取り組みます。また、「ボランティア・パスポート」や「キャリア・パスポート」の活用を通して、自分自身の生き方を見つめ、社会貢献しようとする児童生徒を育成します。

(4) 不登校児童生徒の減少

学校園と教育委員会等の協働により、「早期発見・チーム対応」を柱に、きめ細かなサポートや教育相談の充実、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の専門家の活用に積極的に取り組んでいきます。町ふれあい教室（適応指導教室）、中学校の心の教室での学習サポートや居場所づくりに取り組むとともに、男女共同参画・ジェンダーフリーの教育環境の推進、あいさつ5つ星運動、hyperQ-U調査（楽しい学校生活を送るためのアンケート）やほめ言葉シャワーの活用などを通して、自他を尊重する温かい学級集団・学校園づくりを目指し、いじめや不登校の未然防止を図ります。

6 本年度の重点事業

(★は令和3年度重点事業)

重点項目	一貫教育の推進
目的	確かな学力と豊かな人間性、健やかな健康・体力を備えた、幼児・児童・生徒の育成に資するよう一貫教育の推進を行う。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★iPadの一人一台端末導入におけるICTを活用した授業づくりの充実を図る。 ★ESDとキャリア教育の付けたい力を明確にした授業づくりを行う。 ★小学校高学年で教科担任制、チーム担任制を推進し、専門性の高い指導を行うことで、学力向上を図るとともに、中学校への架け橋とする。 ★キャリア・パスポートを活用し、学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を通して主体的に学びに向かう力を育成する。 ・小中学校で一貫した英語授業の充実に取り組み、「Can Do リスト」を活用して、コミュニケーションツールとして、英語で自分の考えや思いを伝えあう教育環境をつくるとともに、オンライン英会話の充実を図る。 ・保育園・幼稚園・小学校・中学校の15年間で目指すべき子ども像を踏まえた、付けたい力を明確にした授業改善に取り組み、教員の指導力向上を図る。 ・学びの質や深まりに焦点をあて、各教科や道徳、総合的な学習の時間等において子どもたちがより主体的に学習に取り組むための効果的な指導法について講師を招聘し、教員参画型の研修会を実施する。 ・小学3年生～6年生、中学1年生～3年生に学力・学習状況調査を行い、児童生徒の学力状況を把握・分析し、成果・課題を検証し、経年比較を行うとともに、全教職員で授業改善を行い、チームで取り組むことで教育効果を高める。 ・はやしま学園運営協議会では、共通項目と各学校園の独自項目とで、学校関係者評価を実施し、保護者・地域・有識者の意見を反映した学校改善を行う。

重点項目	社会とつながり未来を拓く「はやしま学」の充実
目的	早島町学校教育ビジョンに基づき、「はやしま学」の充実を図る。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★学校の授業や家庭学習等で、タブレットドリル活用し、自らの学習状況に合わせ、個別最適学習ができるようにする。 ★小学校では、毎週水曜日の放課後に小学2・3年生、金曜日の放課後に小学1年生を対象に、タブレットドリルを活用し、算数の学習内容の定着を図る。 ・中学校では、毎週水曜日の放課後、Web教材や入試問題など数学・英語を中心に補充学習を行い、学習内容の定着を図る。 ・「スタディ・パスポート」を活用し、児童生徒自らが学習目標や学習計画を立てることで、自学自習の力を育み、学習意欲の向上を図る。 ・大学や専門機関と連携した「English Bus ツアー」や「科学バスツアー」など、知的好奇心を高める「子どもカレッジ」を開催する。 ・教育支援コーディネーターを中心に、放課後・土曜はやしま塾、土曜英会話塾、教科ロゲイニングなどを企画・運営し、学校外での子どもたちの学びの場

	<p>を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援コーディネーターを中心に、大学生や留学生の確保、地域住民等による「早島っ子サポートボランティア」の人材確保による支援体制を図る。 ・長期休業中に4年生～6年生を対象に「わくわくサマーホリデイ」「わくわく算数教室」などを開催し、大学生講師を招いて算数の学力向上を図る。 ・「子ども議会」「子どもと大人の熟議」「はやしま子どもフォーラム」「早島英語暗唱コンテスト」「中学生だっぴ」「早島 English Day」等を活用し、社会に開かれた学びの場づくりを行う。
--	---

重点項目	GIGA スクール構想によるICT教育の推進
目的	ICT機器の活用により、児童生徒の個別最適な学びや協働的・探究的な学びの実現、校務の情報化による教員の事務負担の軽減等を図る。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★幼小中の管理職と教育の情報化推進リーダーなどで構成する「教育の情報化推進委員会」を定期的に開催し、校内研修の充実や積極的な活用を促す。 ★ICTを活用した年間指導計画を作成し、ICTを日常的に活用する場を授業等で計画的に設定し、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図る。 ★タブレットドリルやG Suiteの課題提示、オンライン会議の機能を活用するなど、家庭学習の充実や不登校児童生徒への支援を図る。 ・ICT教育支援員やGIGAスクールサポーターを配置し、ICTの積極的な活用に向けて、授業支援や環境整備を行う。 ・「教育の情報化推進委員会」を受け、各学校園で校内研修等を実施したり、日常的な短時間研修をするなど、教職員のICT機器の利活用能力を高める。 ・ペーパーレスの職員会議やG Suiteを活用した職員連絡など、ICT機器の活用を通して、児童生徒と触れ合う時間の確保と「働き方改革」を進める。

重点項目	きめ細やかな支援の充実
目的	町ふれあい教室やこころの教室での学習サポート、支援を要する児童生徒へのサポート、新1年生の生活習慣や学習習慣づくりへの支援等、個々の教育ニーズを把握し適切な支援を行う。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、児童生徒や家庭のニーズに応じた支援を行う。 ★長期欠席・不登校児童生徒への学習サポートとして、ICTを活用した学力保障を行う。 ・町で「不登校保護者の会」を年3回以上開催し、個別相談を通して、子どもへの思いや願い、学校への期待を聴き取り、保護者支援・学校支援を行う。 ・町ふれあい教室に支援員を週5日配置し、不登校児童生徒の生活リズムの向上や学習支援などを行い、学校登校へのサポートをする。 ・「不登校対策担当者会」を年5回開催し、登校支援員・担当教員・教育委員会等が情報を共有し講師を招いた研修をすることで、未然防止に取り組む。 ・小学校に登校支援員2名を配置して、登校アプローチや校門前等で児童への

	<p>きめ細かな支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の特別支援学級への支援員配置や、中学校の心の教室への支援員配置等により、きめ細かな生活支援や学習支援、心のサポートを行う。 ・教員の指導力向上や児童生徒理解に向けて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援学校の教員等の専門家アドバイザーの派遣を行い、楽しく安心して過ごせる居場所づくりをサポートする。 ・小学1年生の生活習慣の確立や基礎学力の向上のために、4～12月の間、教育支援員を雇用し教育の充実を図る。
--	--

重点項目	グローバル人材育成事業
目的	外国や日本の文化に慣れ親しみ、英語でのコミュニケーション能力を高め、国際的視野を広げる。
計画	<p>★小中学校で英語授業においては、小中の「Can Do リスト」を作成して英語をツールとしたコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>★小学5・6年生と中学2年生の英語授業で、オンライン英会話を行い、実践力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生との教科ロゲイニングや、英語・母国語での絵本読み聞かせ、English Bus ツアー等の「子どもカレッジ体験事業」を通して、異文化理解を深める。 ・英語検定3級以上の取得に対して、同一級1回の受験料を無料とし、受検者の増加を図るとともに、中学3年生卒業段階で8割以上の生徒が3級以上を取得できるよう目指す。 ・小学校での英語教育の充実を図るため、小学校に英語専科教員を配置し、中学校の英語教員との連携・協働を行う。 ・英語暗唱コンテストを開催し、30名以上の参加者を募り、高校生のモデルスピーチやALT審査員の評価等を通して、国際人としての基礎を培うとともに、町内外のスピーチコンテストへの参加を増やす。 ・英語をツールとした英語授業の充実に向けて、ALT（外国語指導助手）を小学校・中学校に各1名配置し、幼稚園は毎週水曜日にALTと触れ合う。 ・土曜英会話塾では、小学5年生～中学3年生を対象に、年15回開講し、実践的な英語表現を身に付ける機会を提供する。

7 本年度の数値指標

(1) 県目標値と現状との比較

※早島町では、県目標値の早期達成を目指す。

項目	県 (R1の現状)	県目標値 (R6)	早島小	早島中
			R2	R2
全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 (小6中3)	<p>【小6】 国：0.6 算：▲1.7</p> <p>【中3】 国：▲0.3 数：0.3 英：▲1.6 (▲マイナス)</p>	全国平均正答率を超えることを目指す。	実施なし	実施なし

小中学校における不登校の出現割合(児童生徒1千人当たり)	13.3人	9.6人以下	6人 ※(5人)	50.2人 ※(18人)
授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合(小6中3)	小6 72.1%	71.0%	62.7%	83.9%
	中3 64.6%	70.0%	(小5) (中2)	(中2)
「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童生徒の割合(小6中3)	小6 65.9%	70.0%	66.7%	35.6%
	中3 44.1%	50.0%	(小5) (中2)	(中2)
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(小6中3)	小6 55%	50.0%	60.0%	56.0%
	中3 38.9%	60.0%	(小5) (中2)	(中2)
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合(小6中3)	小6 44.7%	50.0%	41.3%	52.5%
	中3 36.5%	50.0%	(小5) (中2)	(中2)
1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合(小5中2)	小5男子 6.6% 中2男子 5.5% 小5女子 9.2% 中2女子 17.9%	5.2% 5.8% 11.0% 21.2%	実施なし	実施なし

(2) 小中一貫教育の推進

項目	指標	評価方法	R2	目標
一貫教育の推進	校種間の連携を大切にしている教育活動を行っている教員	教員アンケート	小 82% 中 81%	90%
	保幼小中が一貫した教育活動に取り組んでいると思う保護者	保護者アンケート	小 89% 中 74%	90%
授業研究の推進	授業は分かりやすいと思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 91% 中 81%	90%
探究的・協働的な取組	生活・総合的な学習の時間に、問題解決に向けて自ら熱心に取り組んでいる児童生徒	児童生徒アンケート	小 86% 中 83%	90%
地域貢献活動の推進	地域の行事に参加している児童生徒	児童生徒アンケート	小 61% 中 42%	65%

(3) 「はやしま学」の充実

項目	指標	評価方法	R2	目標
はやしま学協働本部との連携	放課後・土曜はやしま塾を積極的に活用する児童生徒	一週間の平均参加者数	小 201名 中 41名	220名 50名
	英検・漢検・数検に参加する児童生徒	延べ参加者数	小 218名 中 239名	250名 250名
	学校外の人材活用を進めていると思う保護者	保護者アンケート	小 77% 中 66%	80%

(4) ICT教育の推進

項目	指標	評価方法	R2	目標
ICT機器等の活用	児童生徒の興味・関心を高めるため、効果的にICT機器を活用している教員	教員アンケート	小 92% 中 89%	100%
	ICT機器を使った授業が分かりやすいと思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 95% 中 84%	90%

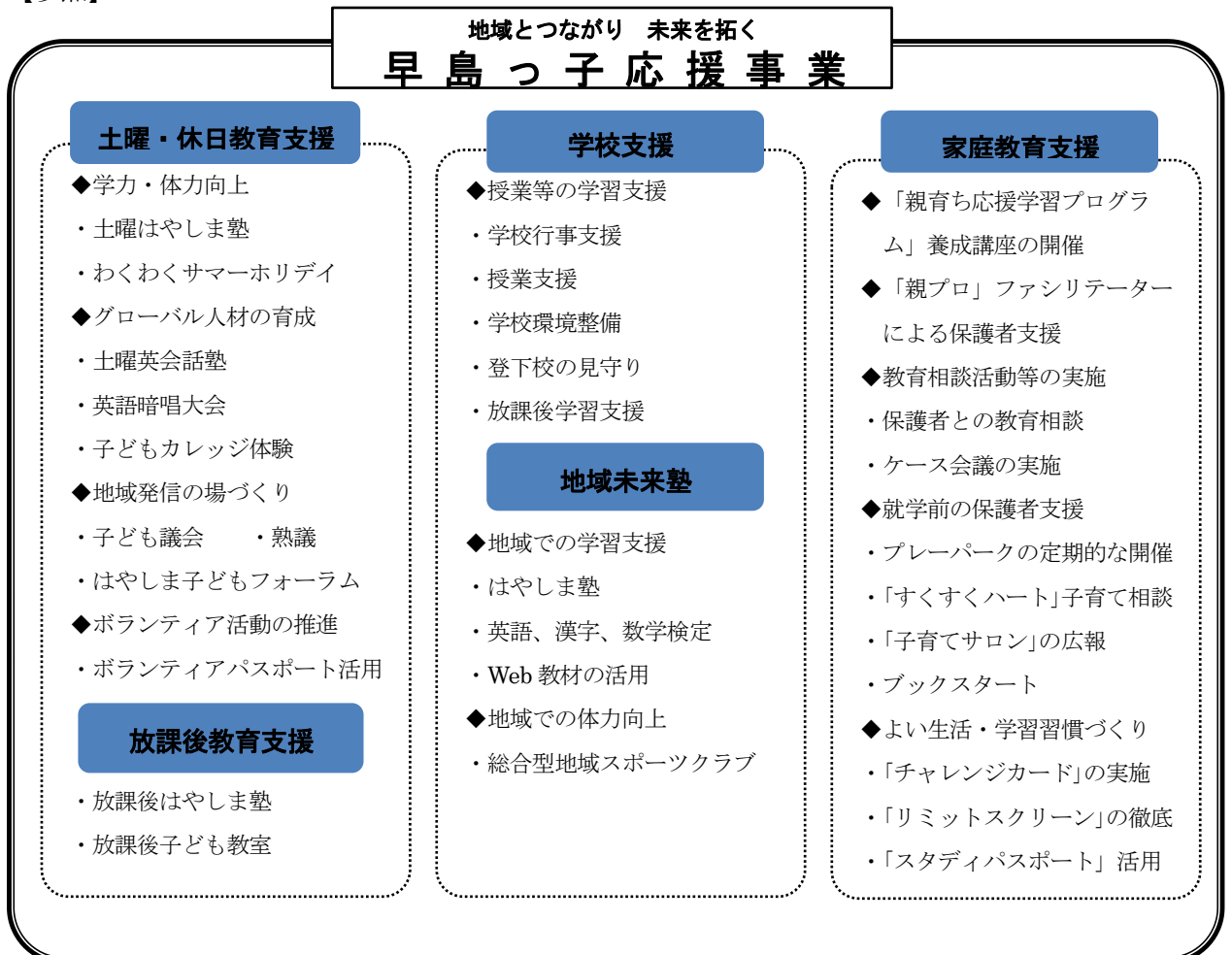
(5) きめ細やかな支援の充実

項目	指標	評価方法	R2	目標
児童生徒理解と個への対応	多面的な児童生徒理解や個への対応に努めている教員	教員アンケート	小 86% 中 86%	90%
教育相談の充実	悩み事や困ったことを相談しやすいと思う先生がいると思う児童生徒	児童生徒アンケート	小 86% 中 73%	90%

(6) グローバル人材育成事業

項目	指標	評価方法	R2	目標
外国への理解	英語暗唱大会に参加する児童生徒	参加者数	小 15名 中 15名	25名 25名
	土曜英会話塾に参加する児童生徒	参加者数	小 12名 中 3名	15名 15名

【参照】



生涯学習課

1 生涯学習課の推進体制等

(1) 推進体制

生涯学習課

課長 1 (兼町民総合会館館長 兼中央公民館長)

<社会教育係>

課長補佐 1

係長 1 (社会教育主事1)

主任 1

<芸術・文化係>

課長補佐 1 (兼務)

会計年度任用職員 3

中央公民館

会計年度任用職員 1

図書館

図書館長 1 (会計年度任用職員)

司書 2 (主査)

会計年度任用職員 4

いかしの舎管理

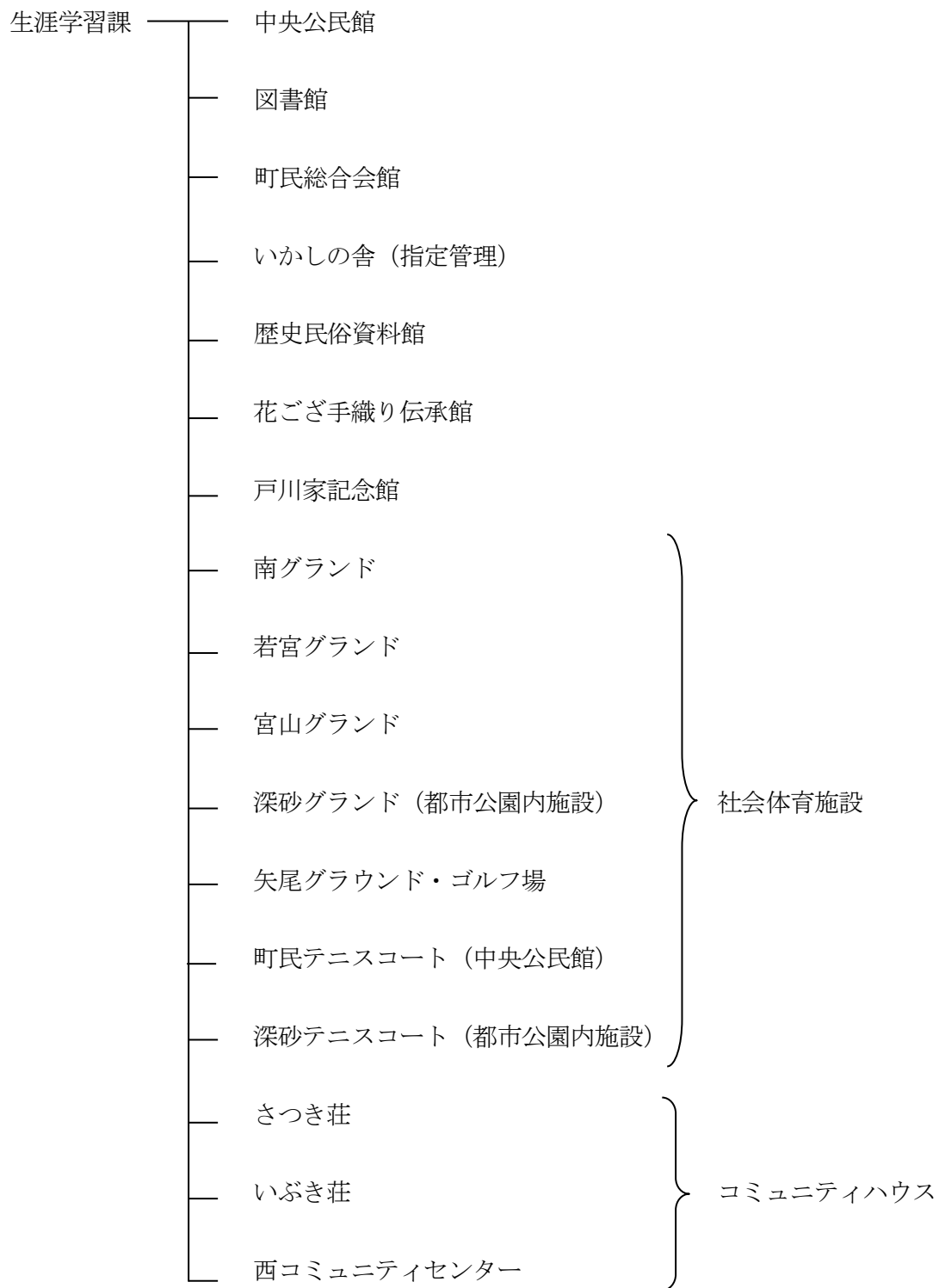
指定管理者による管理

社会体育施設管理

会計年度任用職員 1 (グラウンド等整備)

委託 (シルバー) (グラウンド・ゴルフ場)

(2) 社会教育施設



2 生涯学習推進の基本計画

(1) 基本目標

協働・協学・協育の町づくり～地域に学び、地域の主体を育てる、社会教育の推進～

(2) 重点施策

- ①個々の学びに応える環境の整備
- ②地域課題や社会的課題の解決に向けた学習機会の提供
- ③地域コミュニティの活性化に向けた取組
- ④「はやしま学」の実践
- ⑤芸術・文化活動の振興と歴史的資産の保護、活用
- ⑥スポーツ・レクリエーション活動の振興

3 本年度の重点事業

事業名	社会教育施設の整備事業
目的	施設の整備を行い、個々の学びに応える環境づくりを目指す。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★西コミュニティセンターの老朽化した畳の張替を行い、快適な生涯学習の環境を整える。 ★戸川家記念館の2階に、民具等を展示するスペースを整備し、当館の展示内容の充実を図る。 ★民具展示庫を解体し、屋外空間のゆとりを確保し、戸川家記念館等の駐車スペース等の拡充を図る。 ★令和2年3月に町指定重要文化財に指定された鶴崎神社本殿について、解説看板を作成・設置し、その歴史・文化的意義を分かりやすく伝える。 ★老朽化したバレーボールの支柱の買い替え、大人から子どもまでバレーボールを安全に楽しむことができるようにする。

事業名	子育て・家庭教育支援の充実
目的	家庭教育支援チームによる子育てや家庭教育の支援、親育ち応援プログラムのファシリテーター養成と親プロ等の実施、プレーパークによる親の集いの場づくり等を一体的に行い、地域全体で家庭教育支援をする体制の構築を進める。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★家庭教育支援チーム「すくすくハート」による、子育てや家庭教育の情報提供や相談、親育ち応援学習プログラム等の実施による地域人材による親同士の学びの場づくり、プレーパークによる保護者同士の場づくりや仲間づくり・子育て相談などの支援を行う等、一体的な家庭教育支援を支援する。 ・「すくすくハート」会議により、町内の家庭教育関係者の情報共有を行い、家庭教育支援の仕方を検討する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・親育ち応援学習プログラムのファシリテーター養成を行い、地域人材の育成をする。
--	---

事業名	地域ぐるみによる教育体制の充実
目的	学習支援や体験活動を中心とした「はやしま学」を通して、地域ぐるみの教育体制を築きながら、郷土愛を深め、学びを通して地域の活性化につなげる。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★教科ロゲイニング等、地域を学びのフィールドとした活動的な学びの場を提供し、郷土愛の育成につなげる。 ★早島中学校の歴史副読本として使用している早島の歴史を分かりやすくまとめた「早島歴史紀行」の増刷を行う。 ・「子どもカレッジ体験事業」として大学で学ぶ英会話体験や専門家が指導する科学教室等へ子どもたちを参加させることにより、より高度な学びを体験させることにより、子どもたちの学ぶ意欲や知的好奇心などを高める。 ・地域の指導者等による長期休業中の小学生に、「わくわくサマーホリデー」「料理教室」などを開催し、様々な体験活動によって視野を広げる。 ・数学検定・漢字検定・英語検定3級以上の取得を目指し、支援体制をつくる。 ・地域の方や教職員等がスタッフ・講師として参加するなど、地域ぐるみで子どもを育てる教育体制の構築を目指す。

事業名	「まなびの舎」の講座・教室の充実
目的	地域の方に生涯学習の場を提供するとともに、学びの成果を地域に生かす生涯学習のリーダーを育成する。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★地元企業・団体・大学との連携や小学生との合同実施をさらに増やし、地域への愛着や誇りを育てる大人はやしま塾として、学びを通して地域の活性化につながる講座になるよう工夫する。 ★受講者が取得した単位により、サポーターや講師に認定し、講座の運営や講座の企画等に参画できるよう、講師認定者での講座検討会の実施を進める。 ・地元の学習資源の活用や小学生講座との合同実施等を増やすことで、地域を教材に大人と子どもが共に学ぶことができる講座を目指す。 ・子育てに関する講座や体験活動等をさらに取り入れ、若い世代の受講者も増えるような内容を実施する。

事業名	ゆるびの舎での自主事業の充実
目的	町民の芸術・文化意識の向上と地域の活性化を図るため、他課と連携して、様々なジャンルのものを気軽に鑑賞する機会の提供を行う。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★オーバーホールしたスタインウェイピアノを使った音楽会等を開催し、ゆるびの舎ならではの魅力を発信し、町の活性化につなげる。 ★まち歩きと連動企画として、名作映画の上映「早島シネマ」（仮称）を夏頃から月1回行い、芸術鑑賞を通して町の活性化につなげる。 ・町民に日頃の練習の成果を発表する場を提供することを目的に、文化ホールスタインウェイピアノを開放し、ピアノリレーコンサートを開催する。 ・子育て世代が親子で楽しむことができる「親子で楽しむゆるび劇場2022」を開催する。

事業名	図書館活動の充実
目的	図書館機能を活かした読書活動の充実を図る。
計画	<ul style="list-style-type: none"> ★「第3次早島町子ども読書活動推進計画」を策定し、システム・人的両面で学校図書館、地域や図書館ボランティアとも連携しながら、児童生徒の読書活動の推進を図る。 ★図書館入口案内板の修繕をおこない、利用者が図書館を使いやすいようにする。 ・小・中学校の図書館や教員との連携を深め、学習支援を充実させるとともに、園児児童生徒の読書量とNIE活動の充実を図る。 ・朗読や図書館チャレンジ体験等、講座や体験活動の充実を図る。 ・ボランティアによる読み聞かせや、図書館ワークショップ等の活動を行うなど、町立図書館にできるだけ多くの児童生徒が来館するよう工夫を行う。

3 本年度の主要事業スケジュール（資料1参照）

4 社会教育施設等の取組

(1) 中央公民館

中央公民館は、地域の人々が自主的に学び合い、交流する場として、生涯学習活動・地域コミュニティ活動の中心的施設です。社会教育関係団体、スポーツ少年団や子ども会、生涯学習クラブ・グループ、自治会・町内会の活動等、町民の主体的な学びや活動を支援します。

(2) 図書館

町立図書館、小学校・中学校図書館のネットワーク化を活用して、町内全体の読書環境の充実を図ります。また、高梁川流域と岡山連携中枢都市圏の広域相互利用の活用により、図書館の図書冊数の充実や読書しやすい環境整備を行います。

(3) 町民総合会館

町の賑わいの拠点となるように、オーバーホールしたスタインウェイピアノを使った音楽会、名作映画の上演とまち歩き企画と連動して行い、文化ホールの自主事業の充実により、心と身体の健康づくりに寄与します。また、ゆるびの舎が町の賑わいの拠点となるように指定管理者制度の導入も含めて検討していきます。

(4) いかしの舎

指定管理者により柔軟な発想で企画・運営を行い、より充実したサービスの提供を行います。

(5) 歴史民俗資料館・花ごぞ手織り伝承館・戸川家記念館

戸川家記念館の2階に、民具等を展示するスペースを整備し、当館の展示内容の充実を図ります。また、民具展示庫を解体し、屋外空間のゆとりを確保し、戸川家記念館等の駐車スペース等の拡充を行います。

歴史民俗資料館は、イ草で栄えた歴史文化を伝える場として、花ごぞ手織り伝承館は花ごぞ手織技術の体験・伝承の場として、戸川家記念館は、旗本戸川家の資料展示による昔の人々の生活を感じられる場として、大切な誇るべき地域資源です。全国的に誇るべき特色ある施設を町内外へ広報・情報発信するとともに、観光ボランティアガイドと連携し、観光資源としての活用や、「はやしま学」の学びの場としての活用を広めます。

(6) 矢尾グラウンド・ゴルフ場

多くの方が利用しやすいよう、サマータイム（6月～9月）に取り組むとともに、芝生や土の環境整備等に留意します。

(7) その他

令和2年3月に町指定重要文化財に指定された鶴崎神社本殿について、解説看板を作成・設置し、その歴史・文化的意義を分かりやすく伝えます。

令和3年度主要事業の日程

〔資料1〕

生涯学習課

月日	曜日	事業名	場所
4月18日	日	【中止】春季早島町民ソフトボール大会	南グラウンド、深砂グラウンド
5月2日	日	早島町成人式(令和2年度)	早島小学校体育館
7月11日	日	アンサンブル早島サマーコンサート2021 in ゆるび	町民総合会館 文化ホール
7月24日	土	吹奏楽フェスティバル2021	町民総合会館 文化ホール
7月 or 8月		親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座	町民総合会館 研修室
8月7日	土	備中はやしま夏まつり	南グラウンド
8月下旬		夏の夜のおはなし会	町民総合会館 研修室
8月～(月1回)		早島シネマ(仮称)	町民総合会館 文化ホール
9月		第1回・2回古典文学講座	町民総合会館 研修室
10月3日	日	町民運動会	南グラウンド
10月10日	日	クラブグループ発表/生涯学習まつり(～11/7)	町民総合会館、公民館 等
10月23日・24日	土・日	みんなのスタインウェイ・ピアノリレーコンサート	町民総合会館 文化ホール
10月31日	日	はやしま和太鼓フェスティバル 2021	町民総合会館 文化ホール
11月7日	日	生涯学習まつり・いきいき広場	中央公民館 外
11月14日	日	秋季早島町民ソフトボール大会	南グラウンド、深砂グラウンド
11月20日	土	第3回早島IGUSA花ござピンポン世界大会	早島中学校
12月12日	日	早島ふるさと音楽祭2021	町民総合会館 文化ホール
1月9日	日	早島町成人式	町民総合会館 文化ホール
1月23日	日	第7回”ゆるび”ニューイヤーコンサート	町民総合会館 文化ホール
1月30日	日	岡山晴れの国駅伝競走大会	旭川・百間川ランニングコース
2月6日	日	第12回早島町マラソン・駅伝大会	早島町役場前
2月20日	日	第23回”ゆるび”コーラスフェスティバル	町民総合会館 文化ホール
2月27日	日	親子で楽しむ”ゆるび”劇場2022	町民総合会館 文化ホール
3月		スタインウェイピアノを使った音楽会	町民総合会館 文化ホール

※毎月 第3金曜日 早島町総合型地域スポーツクラブ 早島小学校体育館・グラウンド 他
 毎月 第3土曜日 プレーパーク ぞうさん広場 等
 毎月 第3日曜日 「家庭の日」南グラウンド開放
 毎月 第4金曜日 ”ゆるび”WEEK END”コンサート 町民総合会館 エントランスホール